

# 長野医療圏の現状等について

# (留意事項) レセプトデータに関する分析について

## 【本資料の分析に活用したレセプトデータ】

- 厚生労働省において集計した、各年度の診療報酬請求に係るレセプトデータ(NDB)。
- 病名の特定については、断りがない限り、疑い病名を除く、傷病名コードをICD10を用いて、対応させている。この他、DPCレセプトについては、DPCコードを基に病名を特定している。
- 患者の受療動向の分析に当たっては、全レセプトデータのうち、国保・後期高齢者が保険者となるものから(社保レセプトは除外)、保険者住所を患者住所と推定し、診療を受けた医療機関の所在地との関係から、受療動向を分析している。
- 特定の診療行為について、各医療圏、市町村内で発生したレセプト数については、社保を含む全レセプトデータを用いて分析している。
- また、本レセプトデータの分析結果は、県の責任において公表するものであることから、県以外の方が、会議資料等に活用する場合は、「長野県公表データ」と引用元を明らかにしてください。

## 【長野構想区域の課題（長野県地域医療構想から抜粋）】

（現状）

- 3次救急を担う救命救急センターや他区域の地域がん診療病院と連携している地域がん診療連携拠点病院を有しているなど、他区域を含めた3次医療や高度医療を担っています。

（課題）

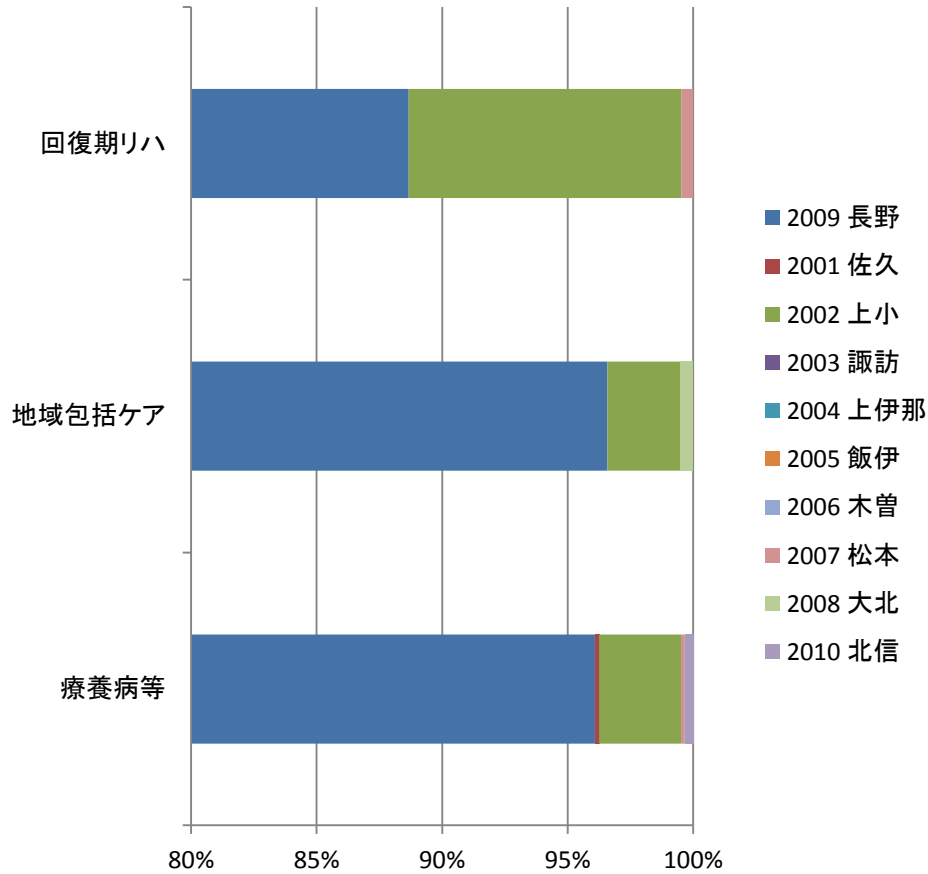
- 回復期の入院医療については上小区域への流出がみられるところであり、区域内において一定程度の回復期機能の充実が必要です。
- 病床を効率的に運用していくため、在宅医療や介護など、患者の退院後の受け皿を充実していくことが必要です。
- 在宅医療推進の方針がある中、介護施設や介護職・看護職の人材が不足するとともに、在宅医療を担う医師や医療機関の負担が増加しています。

これらの課題を今後検討していくにあたり、現状をレセプトデータ等を基に把握し、取り組むべき事項を明確にする。

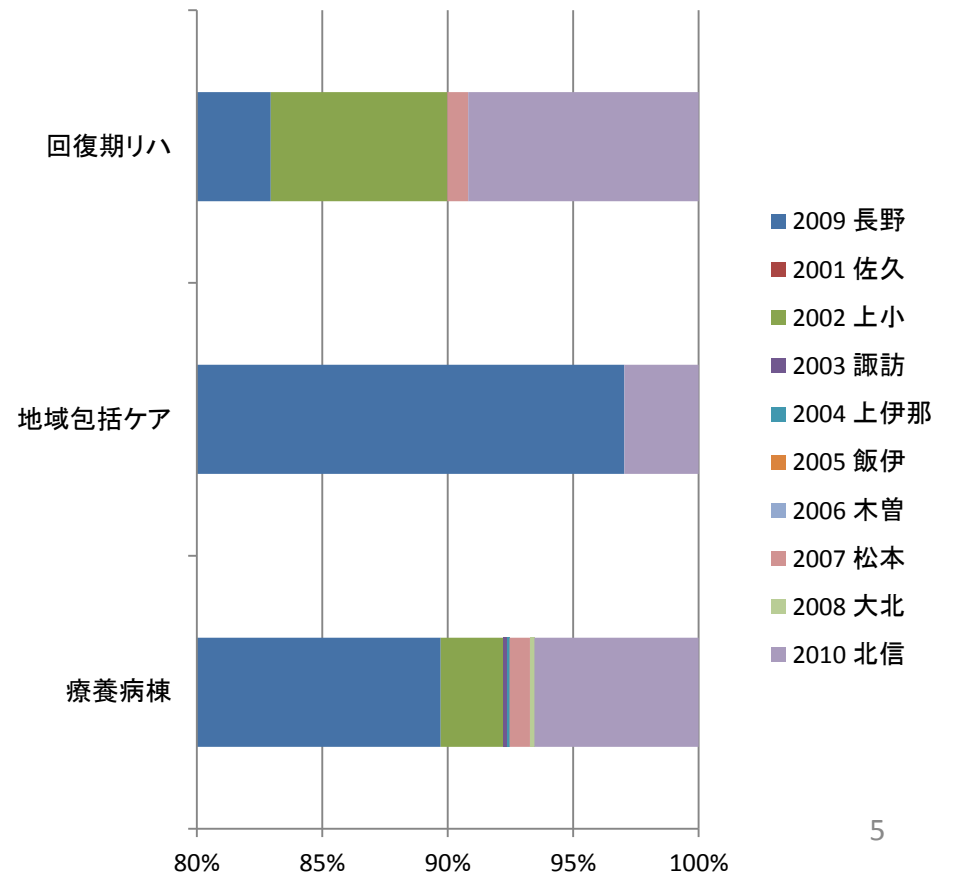
# 慢性期医療及び在宅医療の状況

# 回復期・慢性期患医療の受療動向

## 【流出】

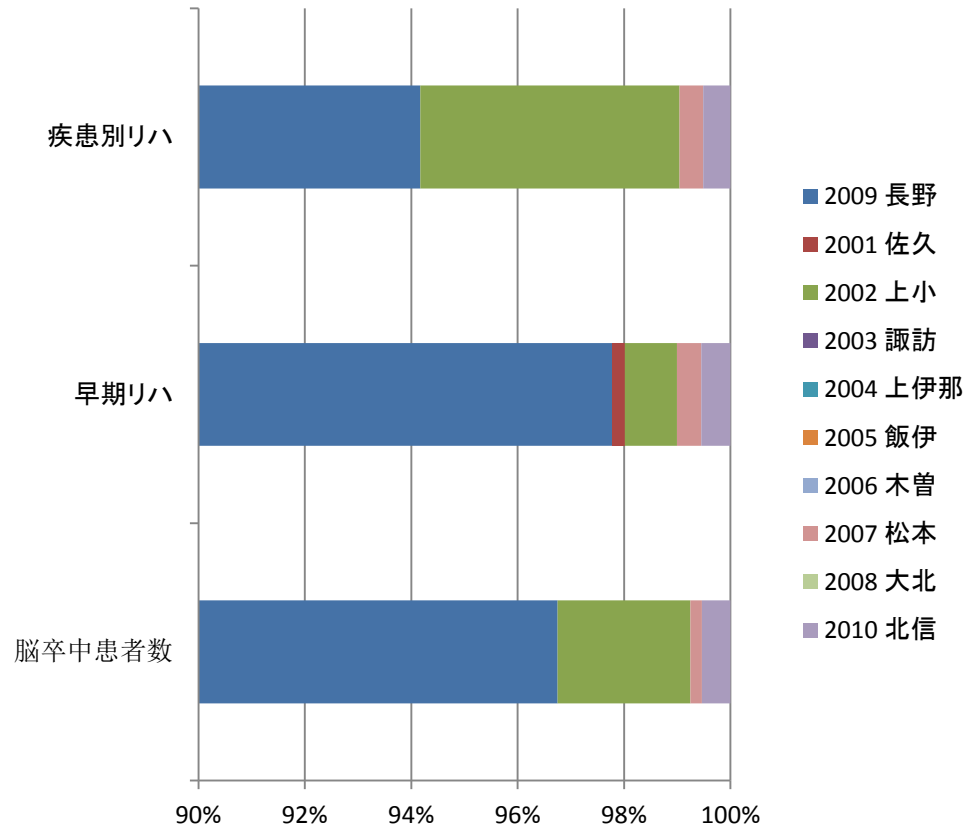


## 【流入】

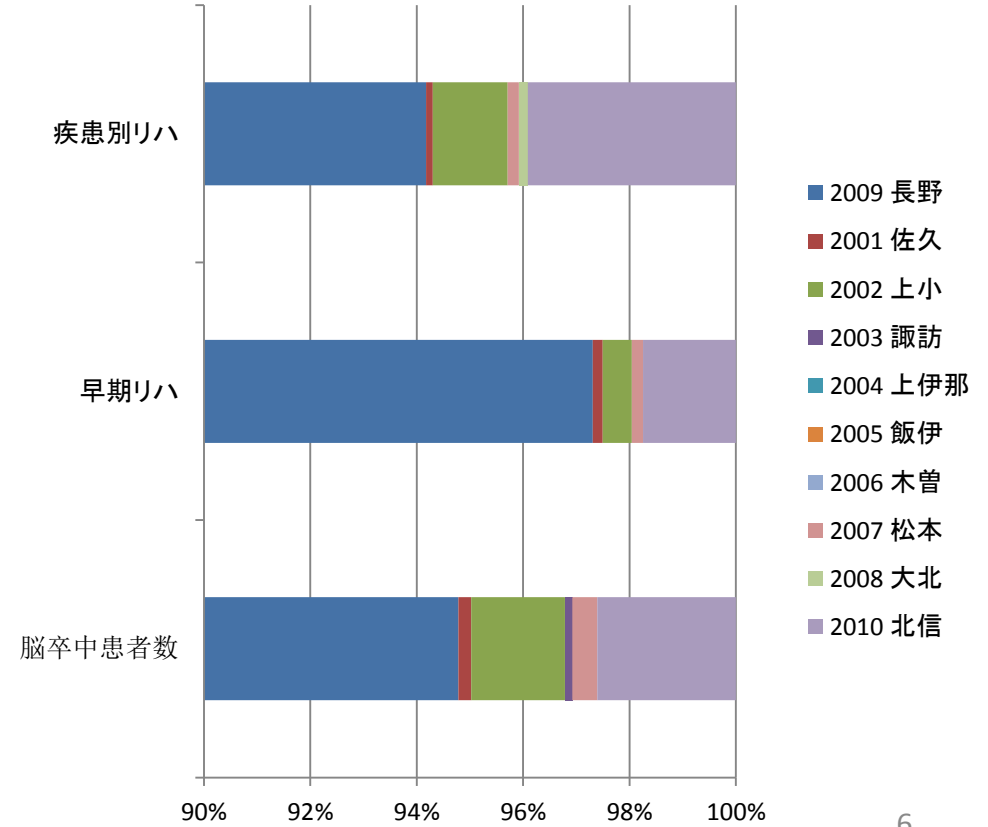


# 脳卒中医療の受療動向

## 【流出】



## 【流入】

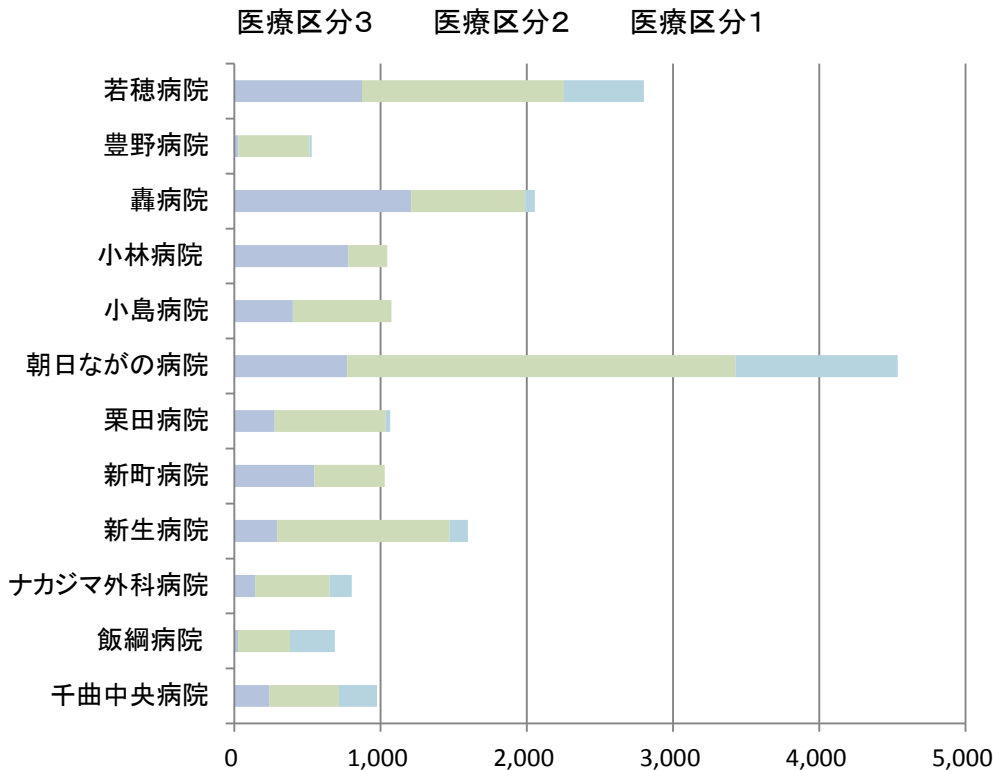


# 医療療養病床に入院する患者の医療区分の状況（病院）

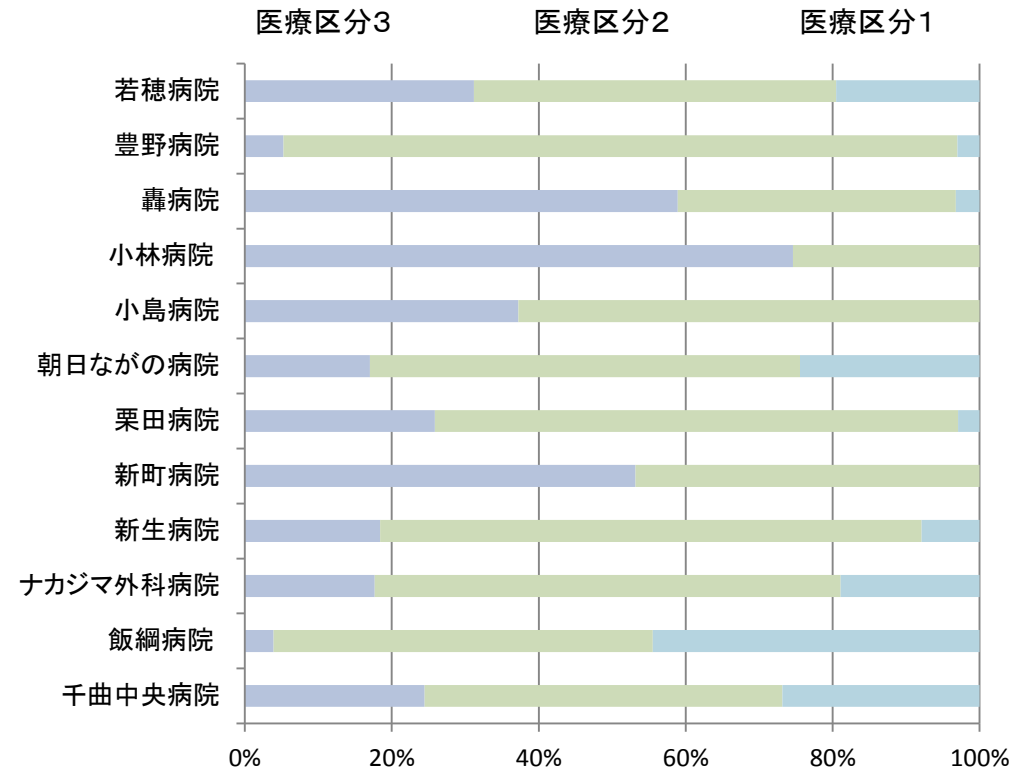
## 【医療療養病床入院患者の医療区分の状況（H28）】

療養病棟入院基本料 1 又は 2 を算定する病棟において、入院患者を医療区分ごとに分類したもの。

レセプト算定回数(1か月あたり)



構成比(1か月あたり)



※医療区分1:入院基本料G,H,I 医療区分2:入院基本料:D,E,F 医療区分3:入院基本料A,B,C

※報告の不備等により、入院基本料のデータがないものを除く

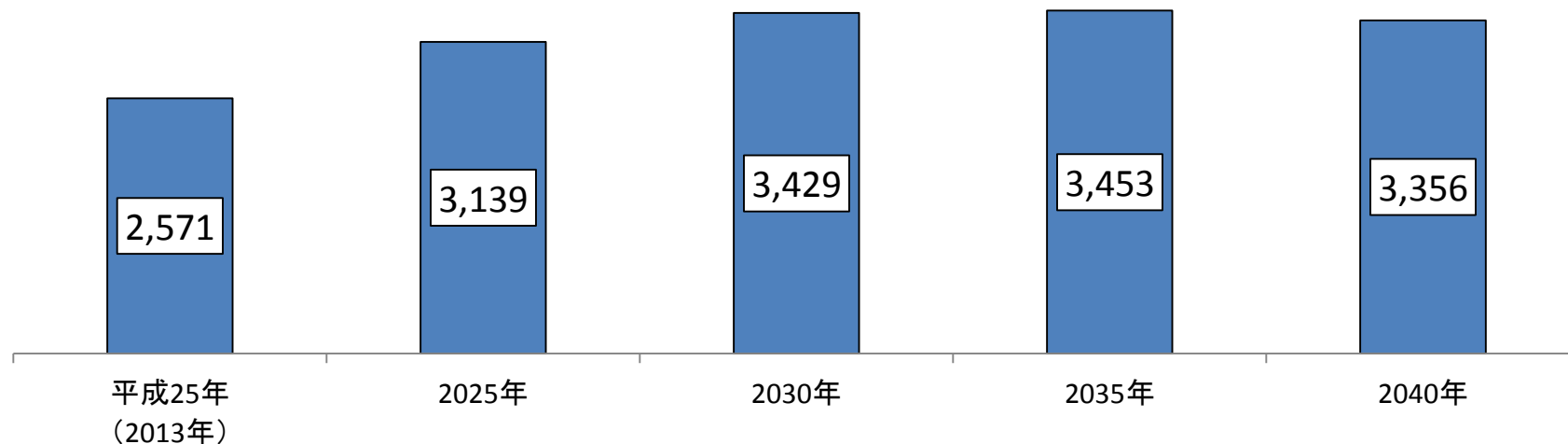
# 長野医療圏における在宅医療実施状況の推移

## 【在宅医療需要の推計（平成25年（2013年）～2040年）】

- 下記は、地域医療構想の策定に使用した、平成25年度に訪問診療料を算定した一月あたりの性・年齢階級別レセプト件数から受療率を算出し、長野医療圏の性・年齢階級別将来人口に乗じて将来需要を推計したもの。今後の高齢化により、2035年まで訪問診療の需要は伸び続ける結果となっている。
- 長野医療圏に住所を有する患者の需要となっており、他の医療圏に所在する医療機関が長野医療圏の患者に対して、訪問診療を提供したものを含む。

## 【今後の訪問診療料を算定する患者の見込】

（レセプト件数/月）





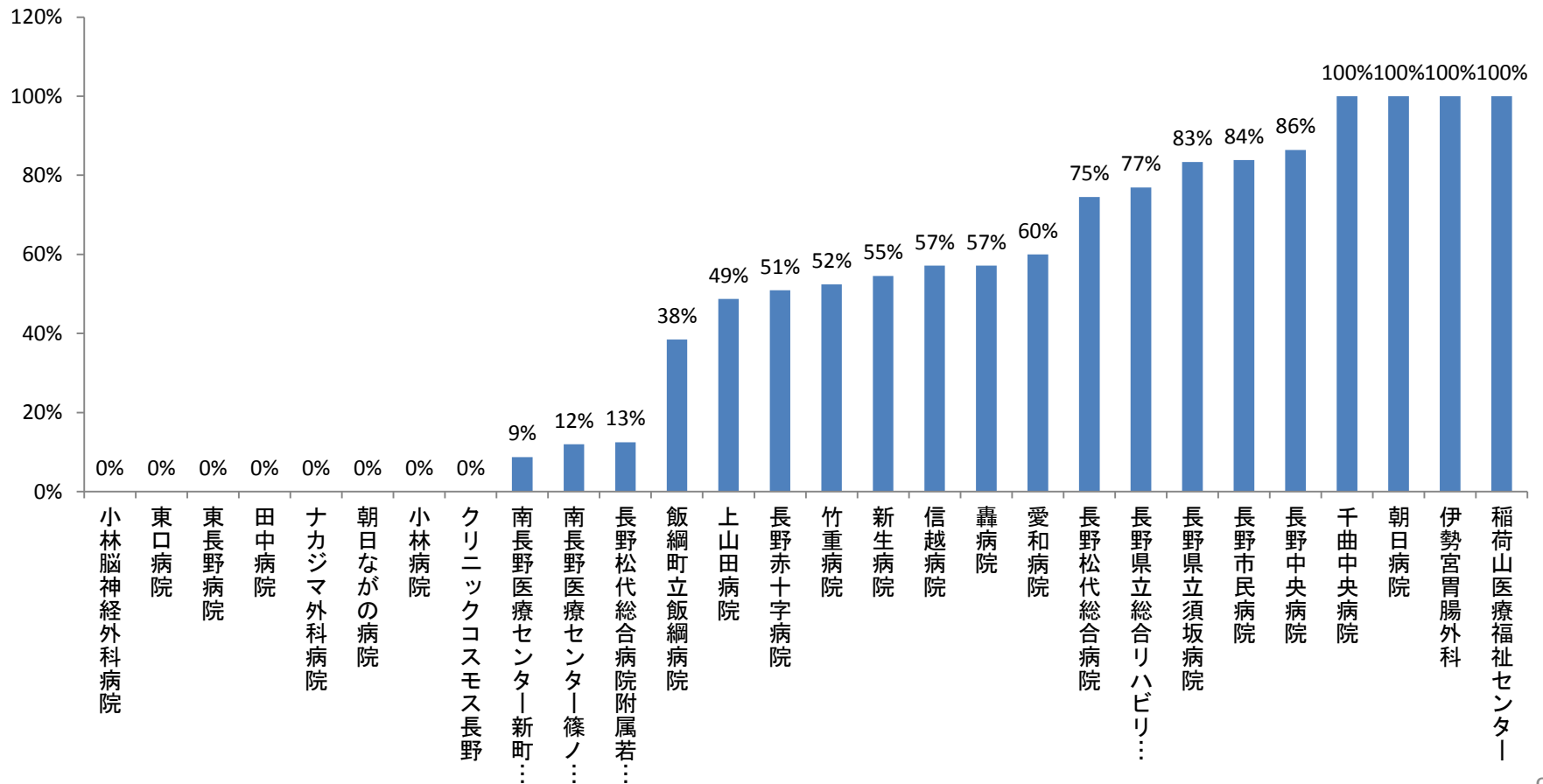
# 退院患者に対する在宅医療の実施状況

## 【在宅医療が必要な退院患者に対する在宅医療の実施状況（H28）】

- 平成28年度の病床機能報告結果において、1か月あたりの退院患者のうち、在宅医療が必要なものに対し、入院医療を提供した医療機関による在宅医療の実施率。

(※) 退院患者のうち、在宅医療が必要な者がいなかった医療機関を除く。

(%)



# 退院患者に対する在宅医療の実施状況

## 【在宅医療が必要な退院患者に対する在宅医療の実施状況（H28）】

- 平成28年度の病床機能報告結果において、1か月あたりの退院患者のうち、在宅医療が必要なものに対し、入院医療を提供した医療機関による在宅医療の実施状況。

(※) 退院患者のうち、在宅医療が必要な者がいなかった医療機関を除く。

(人/月)

医療機関名	退院患者（月）	うち、在宅医療が必要な患者	うち、自院が在宅医療を提供する患者
小林脳神経外科病院	74	18	0
東口病院	72	2	0
東長野病院	29	16	0
田中病院	16	1	0
ナカジマ外科病院	15	1	0
朝日ながの病院	12	1	0
小林病院	6	3	0
クリニックコスモス長野	6	4	0
南長野医療センター新町病院	87	80	7
南長野医療センター篠ノ井総合病院	1,022	25	3
長野松代総合病院附属若穂病院	19	16	2
飯綱町立飯綱病院	136	13	5
上山田病院	73	39	19
長野赤十字病院	1,245	55	28
竹重病院	31	21	11
新生病院	120	22	12
信越病院	37	7	4
轟病院	15	7	4
愛和病院	58	15	9
長野松代総合病院	645	55	41
長野県立総合リハビリテーションセンター	63	13	10
長野県立須坂病院	447	12	10
長野市民病院	907	850	713
長野中央病院	556	493	426
千曲中央病院	131	2	2
朝日病院	64	2	2
伊勢宮胃腸外科	27	1	1
稲荷山医療福祉センター	2	1	1

# 在宅医療の提供状況（１）

## 【訪問診療の実績（H25～H27）】

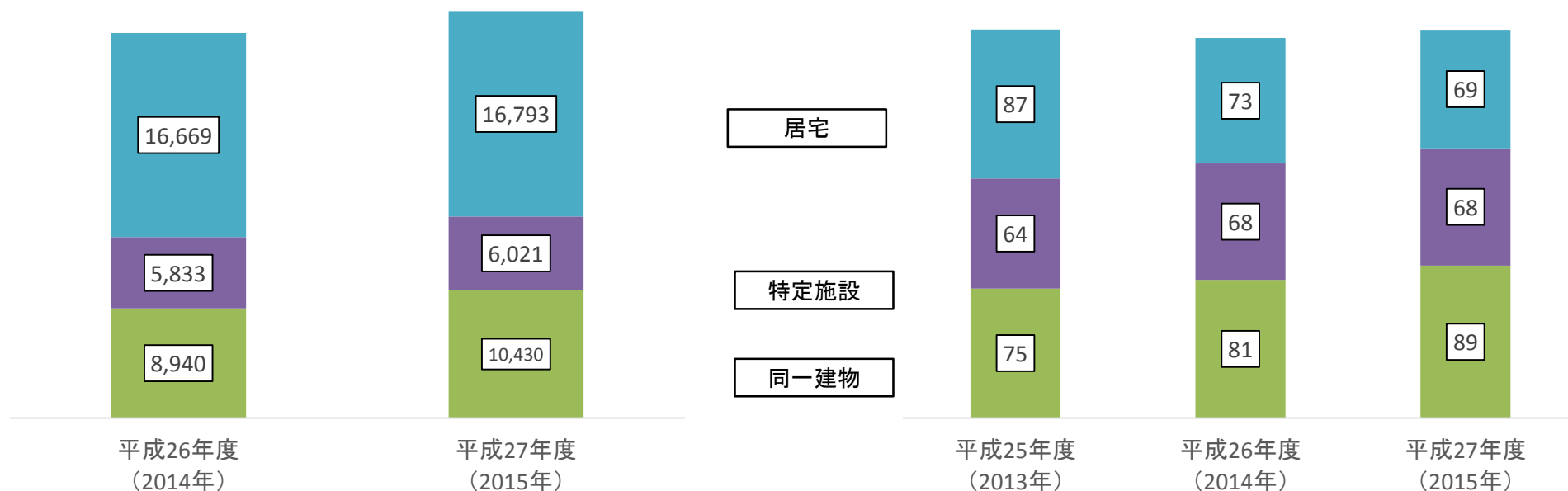
- 以下は、各年度の長野医療圏の医療機関が算定した訪問診療料（居宅、特定施設、同一建物）の実績及び該当レセプトの発生数を全国平均と比較した指標である、SCR（※）の経年変化。
- 訪問診療は、患者宅に対して行われているものが一番多く、レセプトの発生状況を見ると、件数自体は増加傾向にあるものの、SCRは他の地域の在宅医療提供体制の整備等に伴い、相対的に減少したと考えられる。

$$\text{※SCR(standardized claim ratio)} = \frac{\sum \text{年齢階級別レセプト数(分析対象地区)} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口(分析対象地区)} \times \text{年齢階級別レセプト出現率(全国平均)}}$$

### 【年間レセプト件数】

(件数/年)

### 【SCR】



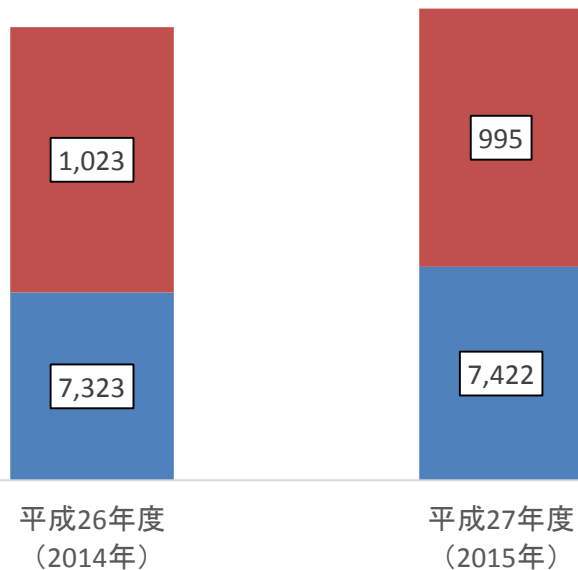
# 在宅医療の提供状況（2）

## 【往診・緊急往診の実績（H25～H27）】

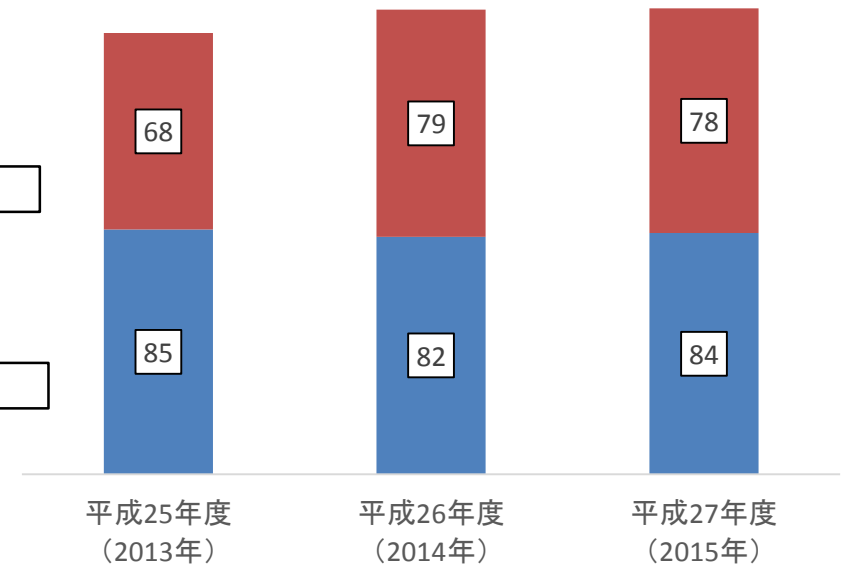
- 以下は、各年度の長野医療圏の医療機関が算定した往診・緊急往診の算定実績及びSCRの経年変化。

### 【年間レセプト件数】

（件数/年）



### 【SCR】



# 在宅医療の提供状況（3）

## 【訪問看護・訪問看護指示の算定実績（H25～H27）】

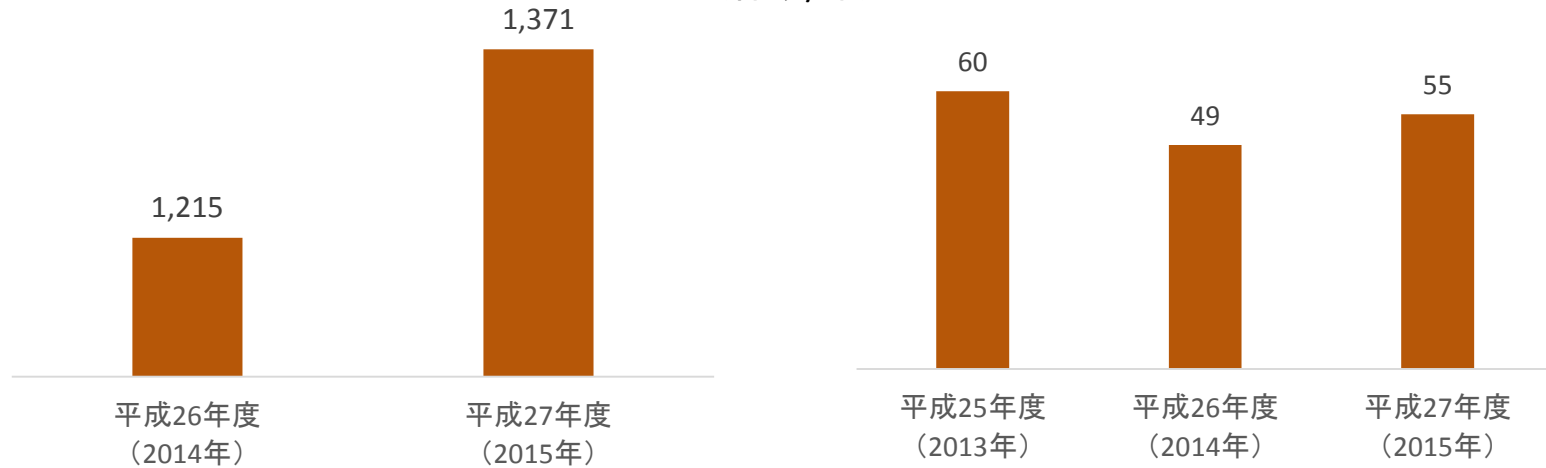
- 以下は、各年度の長野医療圏の医療機関が算定した訪問看護指導料、訪問看護指示料の算定実績及びSCRの経年変化。

### 【年間レセプト件数】

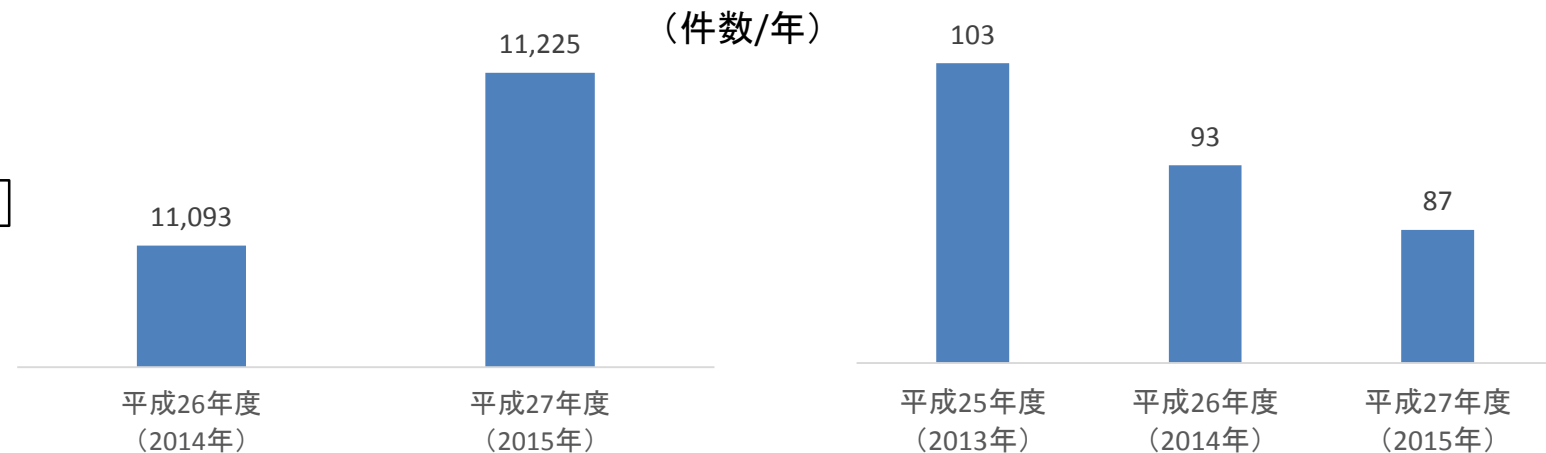
(件数/年)

### 【SCR】

訪問看護提供



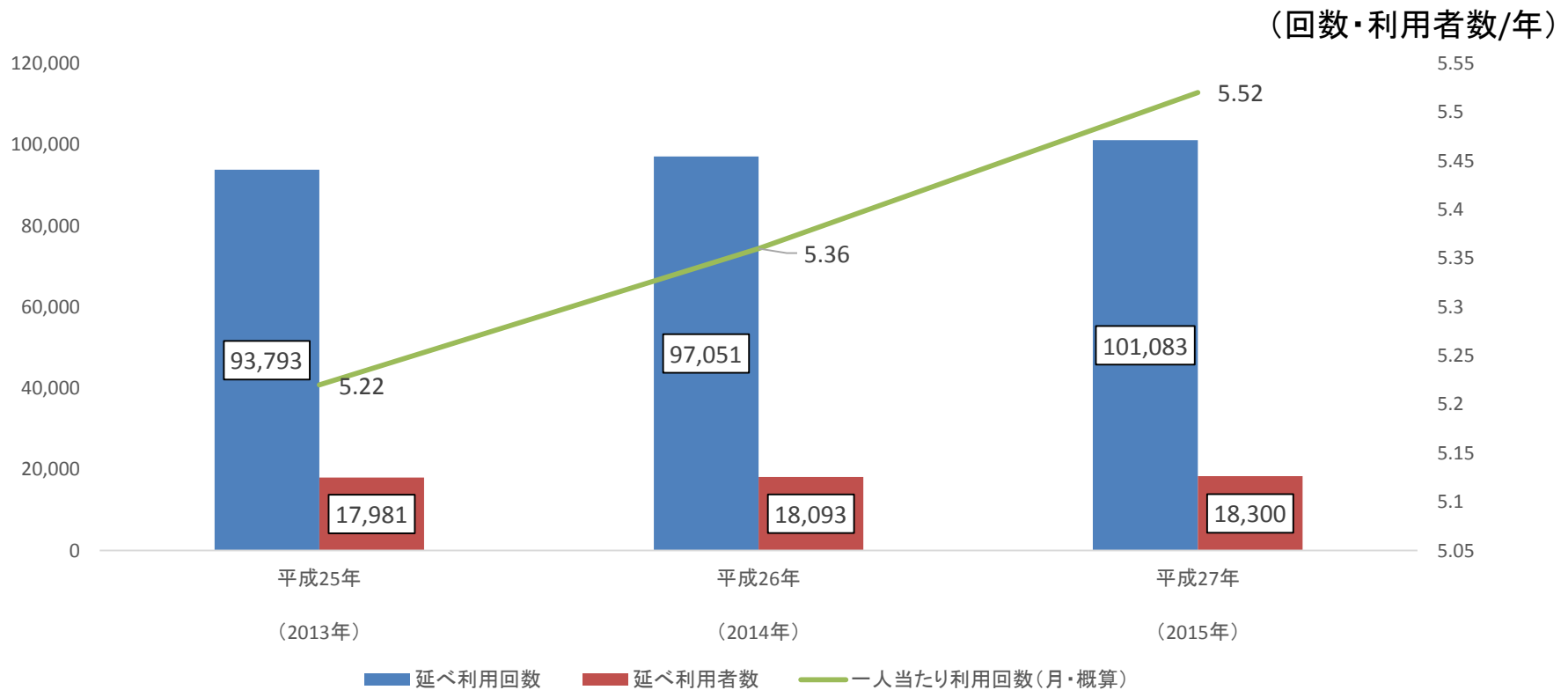
訪問看護指示



# 在宅医療の提供状況（４）

## 【介護保険による訪問看護の算定実績（H25～H27）】

- 以下は、長野医療圏における訪問看護の実施について、介護保険によるものの算定実績の経年変化。



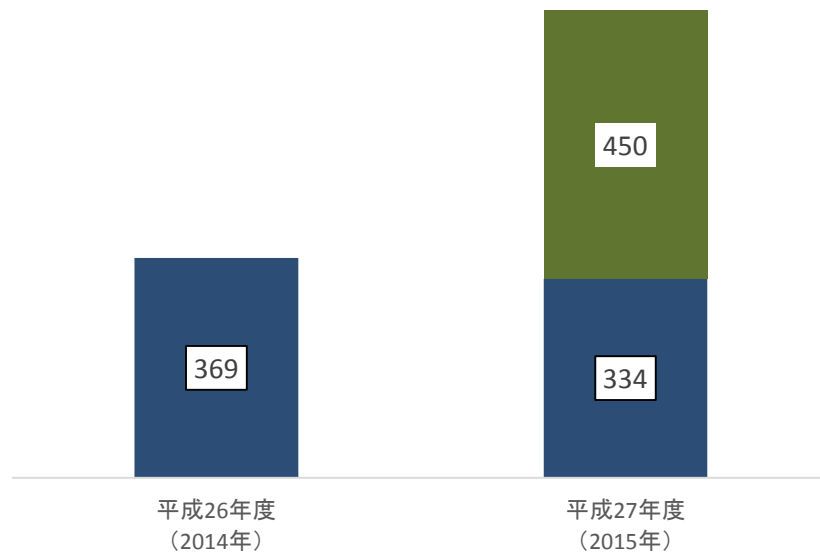
# 在宅医療の提供状況（5）

## 【看取り・在宅における死亡診断の実績（H25～H27）】

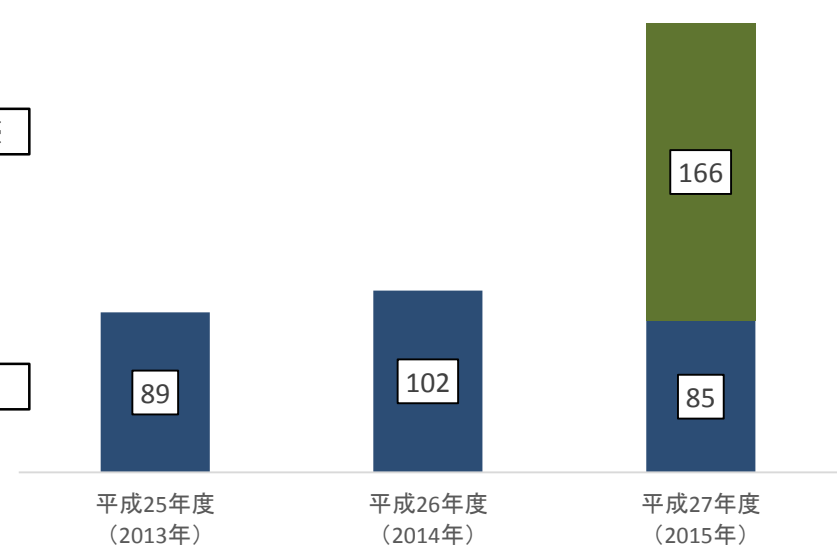
- 以下は、各年度の長野医療圏の医療機関が算定した看取り加算・死亡診断加算の算定実績及びSCRの経年変化。

### 【年間レセプト件数】

（件数/年）



### 【SCR】



※H26の死亡診断加算は集計されていないため把握不可

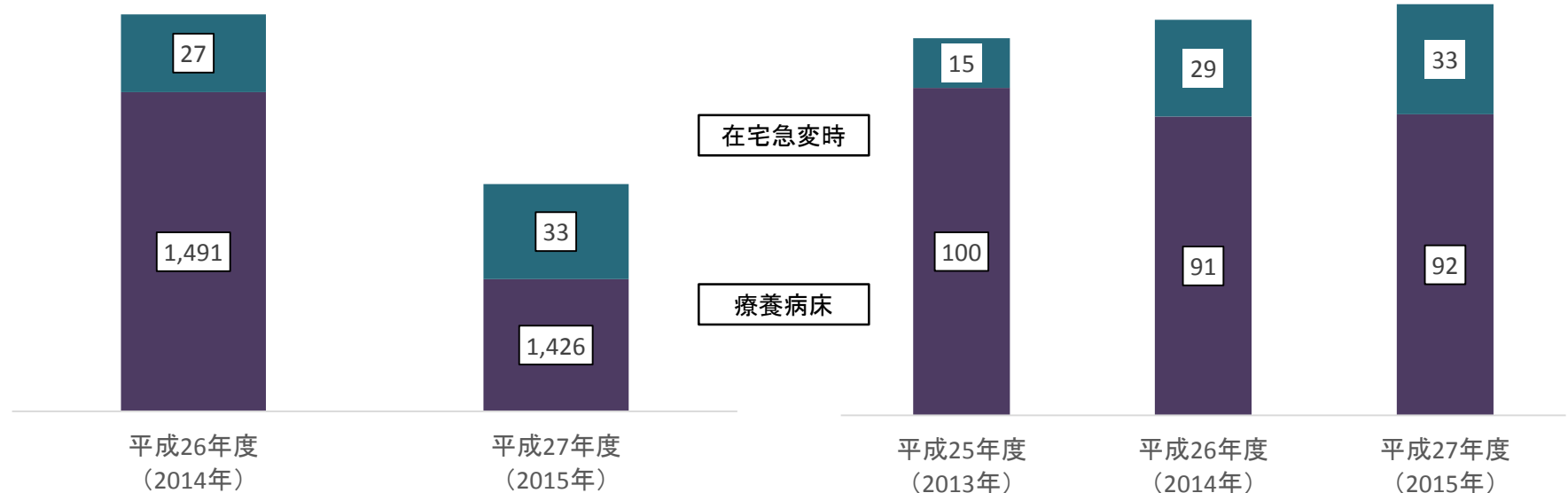
# 在宅医療の提供状況（6）

## 【在宅急変時対応の実績（H25～H27）】

- 以下は、各年度の長野医療圏の医療機関が算定した、在宅患者緊急入院診療加算、救急・在宅等支援療養病床初期加算の算定実績及びSCRの経年変化。

### 【年間レセプト件数】

（件数/年）



出典：平成25～27年度NDBデータ